



2022年6月22日

株式会社 阿波銀行

株式会社シュービの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社シュービ（代表取締役 村田 俊夫、本社：神奈川県横浜市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|---|
| 企業名 | 株式会社シュービ |
| 所在地 | 神奈川県横浜市都筑区川向町 787 番 1 号 |
| 代表者 | 村田 俊夫 |
| 業種 | 印刷業 |
| 設立 | 1987 年 8 月 28 日 |
| H P | https://www.shubi-pr.co.jp/ |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年6月22日



株式会社シュービ 代表取締役 村田 俊夫

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール |
|-------|------------------|---|--------------------------------------|----------|
| 社会・経済 | 働きがい | 社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働き甲斐を感じられる環境を目指します。 | ①資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備 | |
| | | | ②印刷技能士等の資格取得費用を会社負担、資格の難易度に応じた奨励金を支給 | |
| 環境・経済 | 移動・輸送における環境配慮の推進 | 社有車・従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。 | ①温室効果ガスの削減 | |
| | | | ②2024年までに社用車に電気自動車を導入 | |
| 社会 | 情報漏えいの防止 | 各種機密情報の保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏えい防止に努めます。 | ①情報管理の徹底および情報セキュリティの高度化 | |
| | | | ②年2回社員向け研修実施、年1回外部の情報セキュリティ監査対応 | |
| 社会 | 従業員ボランティア活動の促進 | より良い地域づくりに貢献するため、従業員のボランティア活動をサポートします。 | ①勤務時間内に全員で参加 | |
| | | | ②会社周辺の清掃活動を月1回実施 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。